

令和 6 年 月 日

入間市長 杉 島 理一郎 様

入 間 市 環 境 審 議 会
会 長 黒 瀧 孝 秀

環境の保全及び創造に関する施策の進捗状況について(意見)(案)

令和5年度版第三次入間市環境基本計画環境報告書(以下「令和5年度版環境報告書」という。)に基づき、令和4年度における『環境の保全及び創造に関する施策の進捗状況』を審議しました。その結果を踏まえ、次の意見を提出いたします。

令和5年度版環境報告書に記載されている施策は、新型コロナウイルス感染症の制約が残る令和4年度において、環境分野のみならず教育分野など多岐にわたる取り組みが強化されており、明確な進展が認められます。さらに、指標以外の領域でも、民間事業者との連携により取り組みが拡大し、具体的な成果を上げている点は非常に評価できます。

ただし、以下の項目については、さらなる検討が必要であると考えます。

1 資源回収に対する取り組みについて

資源の再利用は、天然資源の採掘による地球への負荷を軽減し、廃棄物を減らすだけでなく、地球温暖化対策のための世界的な課題である二酸化炭素排出量の削減にも寄与する極めて重要な取組です。

資源再利用団体の登録数は年々減少していますが、これは、入間市に限らず、他市でも見られる現象です。団体構成員の高齢化や人口減少による役員の担い手不足など様々な要因が考えられるため、登録を廃止する団体に理由を確認するなどして、原因を把握する必要があると考えます。

また、資源の再利用を促進するために、店舗等での拠点回収の推進など、資源再利用団体の活動によらない、効果的な回収方法について検討してください。

なお、社会的に省エネ・省資源の取り組みが進んだことにより、家庭から排出できる資源の量も減少しています。そのため、資源化の取り組み状況については、回収量や資源化率ではなく、1人あたりの焼却しているごみの量を指標にするなど、評価方法の検討が必要であると考えます。

2 生ごみ処理機の補助制度について

生ごみ処理機の補助制度については、予算上限まで活用されている上、令和5年度には予算増額も行われており、積極的に取り組まれていることを評価します。

一方、補助金の目的は生ごみ処理機の普及による生ごみの減量にあります。今後は実効性を確保するために、補助対象者に対して機器の使用状況を確認するとともに、機器の継続利用の働きかけを行ってください。

なお、次の点についてもお配慮ください。

取り組みの進捗状況は良好ですが、第三次入間市環境基本計画には、現在の社会情勢や市が推進している事業との間で一部整合しない部分が見受けられます。令和6年度の間見直しでは、現状を踏まえた計画への改編に取り組むとともに、施策の効果が測れる指標設定となるよう、全体的な見直しを行ってください。

以上